

主な取組

ID 67728

令和8年度当初予算の主な取組を紹介します。
問合せ 財政課 ☎ 072・620・1612

①人と自然が共生する持続可能なまちに

● JR 茨木駅西口エスカレーター整備事業

駅利用者の利便性向上を図るため、JR 茨木駅西口エスカレーターの整備を進める。(9,742 万円)

● 安威川ダム周辺整備事業

北部地域の活性化やダムパーク
いばきた来園者の満足度向上を図
るため、湖面アクティビティの実
施に向けた整備や広域案内施設の
設置等を行う。(3,791 万円)



● 中央通り側道空間の再編検討

ひと中心の歩きたくなる空間や景観の形成を図るため、
中央通り側道空間の再編に向け、沿道事業者等とともに
社会実験を実施する。(1,486 万円)

こんな取組も

■ 自転車乗車用ヘルメットの着用支援

自転車乗車用ヘルメットの着用を促進
するため、ヘルメットの購入に係る費用
について補助を行う。(620 万円)

■ 「みんなで育てる公園プロジェクト」の 実施に向けた取組の推進

公園の魅力向上を図り、地域の課題解
決、価値向上につなげるため、多様な主
体が公園の利活用を行う「みんなで育
てる公園プロジェクト」の実施に向けた仕
組みづくりを行う。(1,262 万円)

②次代の茨木を担う人を育むまちに

● 私立保育所の建設補助

待機児童の解消と保育環境の充実を図るため、認定こ
ども園の建替等に係る費用を補助する。(2億7,422 万円)

● 保育士試験受験料補助制度の創設

保育の質の向上や保育人材を確保するため、保育士資
格の取得に要した受験費用や登録料を補助する。(80 万
円)

● 小学校給食費の抜本的負担の軽減（無償化）

子育て世帯における経済的負担を軽減するため、公費
を活用し、小学校給食費を無償化する。(8 億 3,314 万円)

● ダムパークいばきた多目的運動広場の整備

スポーツ環境の充実や競技人口の増加を図るため、ダ
ムパークいばきたに観覧席や管理棟を備えた本市初となる
サッカーやラグビーの公式戦が実施できる人工芝グラウン
ドを整備する。(6 億 5,019 万円)

こんな取組も

■ 部活動の地域展開 (Iba 活モデル) の推進

生徒の多様な活動機会を確保するため、
モデル実施の地域クラブの対象を拡充す
るとともに、地域クラブ等の運営団体の立
上げに向けて実施計画を作成する。(1,277
万円)

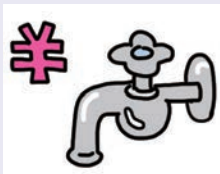
■ 青少年野外活動センター第3キャンプ場 のリニューアル

利用者が安全・安心に体験活動を行える
ようにするため、青少年野外活動センター
第3キャンプ場のテントエリアをリニュー
アルする。(4,290 万円)

③ ともに支え合い・健やかに暮らせるまちに

●水道料金の基本料金を免除

一般家庭における日常生活を支援するため、水道料金に係る基本料金を免除する。(11億8,575万円)



こんな取組も

■ 認知症高齢者等 GPS 見守り補助金の創設
認知症高齢者等の行方不明時の早期発見や安全確保を図るため、位置情報を把握できる GPS 機器の導入費用を補助する。(83万円)

④ 都市活力があふれる心豊かで快適なまちに

●オープンカンパニー等実施支援補助金の創設

自社の認知度向上や魅力発信を目的に、企業が事業所等を公開するために使用する備品の購入費等について補助を行う。(50万円)

こんな取組も

■ キリシタン遺物史料館展示室等の改修
気軽に立ち寄り快適に過ごせる空間を整備するため、キリシタン遺物史料館の展示室の改修を行う。(1,487万円)

⑤ ともに備え命と暮らしを守るまちに

●市民地震対策イベントの実施

地震リスクの理解を深めるとともに、防災意識の向上を図るため、体験型の市民地震対策イベントを実施する。(103万円)

●避難所開設体制の改善

災害時における迅速な避難所開設体制を確保するため、非常時に二次元コードの読み取りにより、避難所の鍵を保管しているキーボックスを解錠できるシステムを導入する。(280万円)

こんな取組も

■ 福祉避難所の整備等に伴う備蓄物資の充実
要配慮者の安全・安心な避難所環境や発災初期に必要な物資を確保するため、医療的ケア児・者への対応に係る物品や備蓄物資を整備する。(291万円)

■ 旧耐震分譲マンションの耐震診断補助金の拡充

災害に強いまちづくりを推進するため、補助対象となる建物数の算定を構造棟ごとに拡充する。(175万円)

⑥ 対話重視で公平公正な市政運営

●コミュニティセンターにおける共創空間の整備

誰もが気軽に立ち寄ることができる共創空間を整備するため、コミュニティセンターにおいて居心地のよい空間づくりに向けた実験的な取組を実施する。(200万円)

●共感型の市民活動支援事業補助金の創設

共創のまちづくりを推進するため、クラウドファンディング等の仕組みを活用し、集まった資金を団体に交付する共感型の市民活動支援事業補助金を創設する。(250万円)

こんな取組も

■ 市民課窓口への行政キオスク端末の導入
証明発行窓口の混雑緩和と書かない窓口の促進を図るため、コンビニに設置している自動交付機(行政キオスク端末)を市役所内に設置する。(1,167万円)

基本方針

誰もが「安全・安心」、「豊かさ・幸せ」を実感できる“次なる茨木”をさらに形にするため、多様な価値観のもと、さまざまな主体が活躍できるまちづくりをめざす“まち全体で共創していく”予算を編成しました。



「安全・安心」の確保

「豊かさ・幸せ」の実現

『健全財政の確保』

“次なる茨木”の実現

令和8年度当初予算

市の財政情報発信キャラクター「いばら騎士」と一緒に予算の詳細を見ていきましょう。

問合先 財政課 ☎ 072・620・1612

今年度の お金の使い道

ID 67728

当初予算額

区分	当初予算額	前年度との比較 (△=マイナス)	
		増減額	増減率
一般会計	1,148億8,000万円	46億6,000万円	4.2%
特別会計	624億円	23億1,888万円	3.9%
財産区会計	52億4,176万円	△6,633万円	△1.2%
国民健康保険事業会計	250億8,065万円	4億4,058万円	1.8%
後期高齢者医療事業会計	64億8,345万円	8億8,171万円	15.7%
介護保険事業会計	255億9,414万円	10億6,292万円	4.3%
下水道等事業会計	99億6,726万円	△4億3,392万円	△4.2%
水道事業会計	102億7,391万円	8億9,510万円	9.5%
総計	1,975億2,117万円	74億4,006万円	3.9%

一般会計は、社会福祉経費の増加や物価高騰の影響等により、前年度から増額しているんだ。



一般会計（歳出）の内訳

市民1人当たりの予算額 **約40万円**

人口285,978人(令和8年1月末時点)で計算



福祉・子育て支援等の充実
217,200円



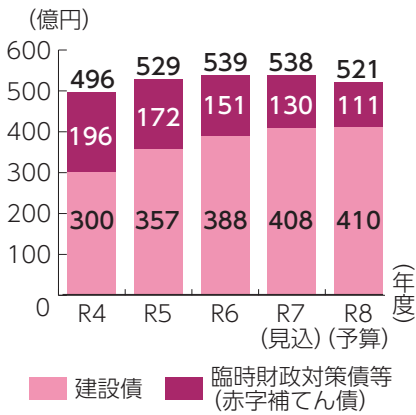
教育・文化の向上、共創の推進等
54,600円



環境・保健衛生の向上
33,200円

庁舎管理や住民票の発行等	28,800円
道路・公園等の整備	22,500円
市債(借金)の返済	16,800円
消防・救急体制の強化・充実	10,300円
農林・商工業の振興	5,600円
その他	12,500円

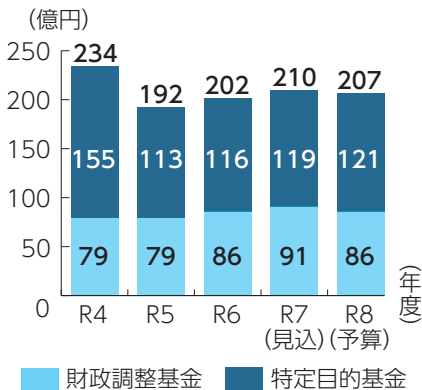
市債（借金）の残高



グリーン

建設債については、中央保育所の新築工事や多目的運動広場の整備等の借入により、増額を見込んでいますね。

基金の残高



オレンジ

財政調整基金を活用して、水道料金の基本料免除等の物価高騰対策を進めていくのだ。

一般会計予算の内訳

その他
35億8,622万3千円(3.1%)

農林・商工業の振興
16億62万円(1.4%)

消防・救急体制の強化・充実
29億5,662万5千円(2.6%)

市債(借金)の返済
48億1,547万9千円(4.2%)

道路・公園等の整備
64億3,947万6千円(5.6%)

庁舎管理や住民票の発行等
82億4,965万7千円(7.2%)

環境・保健衛生の向上
95億11万9千円(8.3%)

教育・文化の向上、共創の推進等
156億2,261万9千円(13.6%)

一般会計の歳出

その他
57億4,861万1千円(5.0%)

地方交付税
8億3,000万円(0.7%)

負担金・使用料・手数料
23億2,551万3千円(2.0%)

市債(借金)
25億2,470万円(2.2%)

譲与税・交付金
108億6,000万円(9.5%)

国庫・府支出金
372億8,117万6千円(32.5%)

福祉・子育て支援等の充実
621億918万2千円(54.0%)

一般会計の歳入

ビルド
(新規・拡充事業の実施)

⚠️ 財源不足部分 ➡️ スクラップ

市民サービスの充実を図る「ビルド(新たな事業の実施)」のために、「スクラップ(既存事業の見直し)」を進めることにより、まちづくりを支える財政の健全性の確保にも取り組んでいます。



ブルー

「ビルド&スクラップ」という市独自のスローガンのもと、毎年の予算編成に取り組んでるんやな。

